

私の住んでいる津市のご紹介

全鍍連 情報・国際委員 久保 典史
(大久鍍金工業所／三重県鍍金工業組合)

私の住んでいる津市は、三重県の県庁所在地であり、歴史・自然・文化が豊かに息づく魅力あふれた街です。市街地には、戦国武将・藤堂高虎が築いた津城跡や、日本三観音の一つとされる津観音（正式名称 恵日山観音寺大法院）があり、散策するだけでまちの奥深さに触れられます。

市の西南部に広がる美杉町は、森林利率90%を超える自然豊かな地域で、清流と山里の風景が残る癒しのエリアです。春の新緑、夏の川遊び、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季折々の表情が楽しめ、都市部とは異なるゆったりとした時間が流れています。

津市の食文化を語るうえで欠かせないのが「うなぎ」です。市内には老舗から人気店まで多くの専門店が並び蒸さずに焼き上げた地焼

きが特徴です。パリッとした表面とふっくらした身、そして店ごとに受け継がれる独特なタレの味わいが、多くの人を魅了しています。その他にも学校給食発祥の大人気グルメ「津ぎょうざ」も市内で多くのお店で食べることができます。

また、津市では年間を通じて多彩な祭りが開催されます。夏の「津花火大会」は、夜空に大輪の花が咲き誇り、市内外から多くの観客が訪れる人気イベントです。秋の「津まつり」では、華やかな安濃津よさこいや郷土芸能がまちを彩り、地域の活気と一体感を感じられます。

歴史・自然・食・祭りと、多様な魅力が詰まった津市。訪れる人を温かく迎える、穏やかで活気ある街です。

